



井上ひさし作 丹野郁弓演出
ある八重子物語

装置 勝野英雄
照明 前田照夫
衣裳 宮本宣子
音楽 八幡茂
効果 岩田直行
所作指導 西川瑞扇
舞台監督 深川絵美



出演
別府康子
吉田陽子
桜井明美
中地美佐子
藤巻るも
有森也実〔客演〕
印南唯
加塩まり亜
佐々木郁美
清水川千紘

千葉茂則
横島 亘
みやざこ夏穂
吉岡扶敏
塩田泰久
篠田三郎〔青山事務所〕
吉田正朗
平野尚
横山陽介
花城大恵
慎将吾



井上ひさし作 丹野郁子演出

ある八重子物語

神田川が隅田川へと流れこみ、花街として栄えた柳橋。舞台は、昭16(1941)年から敗戦直後の昭21(1946)年にかけての柳橋・古橋医院。

ここに集う人びとは、水谷八重子に心酔する古橋院長を筆頭に、事務方、看護婦、女中まで全員が大の新派マニア。患者の身の上話もたちまち「婦系図」風の筋書きに。そこへ八重子そっくりの「音楽のような声」をもつ芸者花代が登場、恋愛事件もわきおこって大騒動。はたまた「女形の研究」に熱中するあまり、入営日に寝過ごし徴兵忌避者になつてしまう大学生もからんで……。

新劇から出発して新派で活躍した初代・水谷八重子(1905～1979)。「世の中がいまより少しでもましになりますように」という新劇の考え方に影響を受け、「女優」という新しい職業の確立をめざした時代の先駆けとして知られています。水谷八重子の芸と生きざまに魅せられた人びとをユーモラスな筆致で描く傑作戯曲です。



篠田三郎

青山事務所



有森也実

客演



別府康子



吉田陽子



桜井明美



中地美佐子



藤巻るも



千葉茂則



横島亘



みやざこ夏穂



吉岡扶敏



塩田泰久



吉田正朗



平野尚



横山陽介



花城大恵



慎将吾



印南唯



加塩まり亜



佐々木郁美



清水川千紘